

「女川原発再稼働反対」第二次署名 宮城県に提出しました。



9月13日（木）、6月の第一次署名提出以後、県内各団体が集約した署名を16団体の関係者が参加し第二次分として提出しました。

宮城県からは及川公一環境生活部次長と原子力安全対策課職員が出席。第二次署名1万6千183筆を、鹿島台「女川原発の廃炉を求める会」をはじめ各地各団体それぞれの“思い”を述べながら提出しました。及川次長は「(署名を)しっかりと受け止め、議論していく」とあいさつしました。提出後、県民センター菊池事務局長が「この署名活動では私達は多数派であり、年内30万人の署名集約に向けて一層奮闘しよう」と参加者に呼びかけました。

これで「女川原発再稼働反対」署名は第一次署名4万39筆に加え、合計5万6千222筆となりました。

第三次署名提出は11月末を予定しています。それに向けて9月24日、10月22日、11月26日のそれぞれ月曜日に仙台市一番町フォーラス前での宣伝署名活動を行います。

また、「土曜日昼デモ」を10月6日（土）、11月10日（土）に12時～1時まで仙台市市民広場をスタート地点として実施し、広く市民に呼びかけを行います。